

喜多区 坪田 達夫



SDGs 未来都市  
南阿蘇村

公務員として働いておられた中、27年前、熊本市からご夫婦で村に移住。チャレンジ精神旺盛で、広い視野で実践されてきたお話に時間を忘れ聞き入りました。(取材者 - 河内)

## 坪田さんの人生の中で、心がけてきた(いる)SDGsは？

### 青春時代から

- ・これからは、世界的視野で外国の農業・語学を学ぶことが大切だと一途な想いの基、3年間渡米に挑戦し続けるも、事情があり断念。いろんな場所で仕事を体験した後、21歳時、公務員として就職。
- ・いつも、公平と平和、貧困、平等と正義、健康と福祉の精神を大切に、公僕として定年まで働いた。

### 南阿蘇で

- ・村に移住後、二人三脚で長年温めていた植物、生物学(発酵)の研究、野菜・果樹・山菜作りを実践。柿酢づくり、じゃばら、冬瓜から干びょうづくり、山ぶどう、ズッキーニ、ごみみの商品化など実践してきた。
- ・国立大学から貴重植物保護の相談もあり、種子・情報提供をしてきた。
- ・あそ望の郷にはオープン時期から出荷している。最古参となった。出荷した野菜等の種類は50種を超えた。
- ・私の想いは、当初萌の里で止まっていた客足を、南阿蘇まで伸ばしてもらうことで、特徴のある野菜、ここでしか買えない野菜をつくり、あそ望の郷を盛り上げるのが自分の使命だと考えてここまでやってきた。
- ・箱罫の免許を取得し、有害鳥獣駆除を微力ながら行ってきた。

### 【最後に一言】

行政には村のファンを増やす取り組みを期待しています。  
自然志向の中、村の自然、景観、特産品収穫等の体験ツアーを計画されたら、原野牧野を守るため、地元畜産農家との情報交換を密にし、活用されたらと考えます。  
規格外野菜を有効活用するため、6次産業化推進、加工場を充実し、村主導で研修会開催等を是非。



## 編集後記

4年間にわたる議員活動を通じて、議会だより「すいげん」の広報委員として村民とのコミュニケーションを深める貴重な機会を得ました。「すいげん」を通じて情報発信することで、村民の皆様とより密接な関係を築き、地域社会に貢献できたことを誇りに思います。

今後も村民の声に真摯に向き合いながら村の発展に寄与してまいります。

坂田 正也

### 議会広報特別委員会

委員長	市原 恵一
副委員長	坂田 正也
委員	河内 克也
〃	岡 智則
〃	辰巳 和美

### 発行責任者

議長	山室 昭憲
----	-------

表紙の写真について 「五岳をバックに、黄色・青色のハンカチ、ウクライナ国旗」  
久石、上二子石地区、年始め総会時の写真です。世界平和と早い戦争終結を祈っております。  
撮影にご協力いただきありがとうございました。



ウクライナ国旗